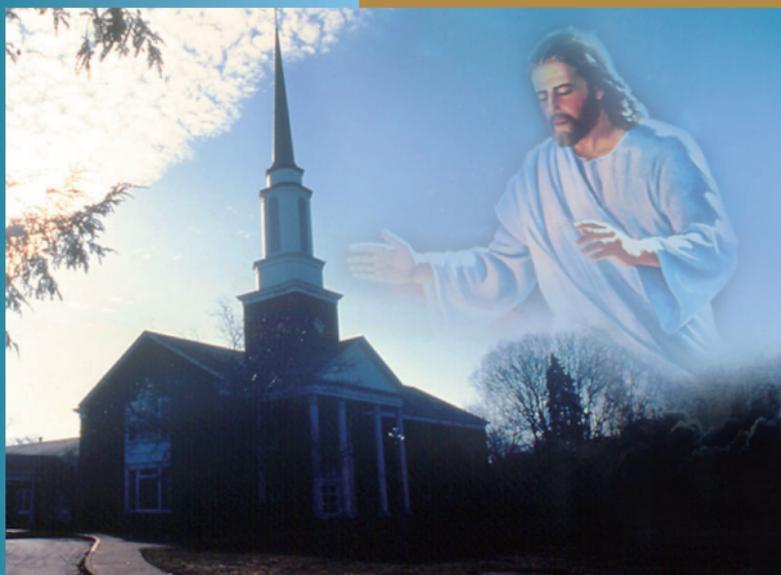


*The Revival and
the Reformation*
リバイバルと改革

Revival Booklet Series No.5



リバイバルシリーズ No.5

ロバート・ピアソン



SUNRISE MINISTRY

目次

Contents

心からの訴え	2
量よりも質	4
世と違っていなければならない ...	7
キリストはなぜ待っておられるか	11

ロバート・ピアソン（1966-
1979のSDA世界総会総理）

彼は、教会の背教を嘆き、
何よりも優先すべきは、リバ
イバルと改革であることを全
世界の教会に訴えた。



この記事は、1973年に送られたメッセージである。
現代のSDAの本当の問題は、組織の機構改革でも人事
でも経済でもなく、実は霊的な問題であるということ
を繰り返し訴えている。教理、神学に目を向けようと
しない今日の教会に向かって彼は、「教会の使命は正し
い神学にかかっている」と言う。

そして教会の目標は、神の理想、完全な品性であり、
それが見られないと福音伝道の完成はないと言う。

今日のラオデキヤ教会の一人一人が真剣に耳を傾け
るべきメッセージではあるまいか。

1973 年度 世界総会総理からのメッセージ

心からの訴え

一九七三年の世界総会年次協議会の時、聖霊が会議に臨み、代議員たちの心を新たにし、神への深い献身の念を生じさせてくださいました。リバイバルの精神が感じられ、改革の必要が認められました。この厳粛な経験の結果、代議員たちは、全世界のセブンスデー・アドベンチスト教会員に対する「心からのアピール」を発表しました。このアピールは、①**教会がラオデキヤの教会の状態（黙示録 3:14-22）にあること**、②**「キリストの品性が完全にキリストの民の中に再現されていないこと（キリストの実物教訓四七ページ参照）**、③**「イエスの再臨が長い間遅れていること……また、セブンスデー・アドベンチスト教会が第一に考えねばならないことは、主の再臨を早めることができるように、個人としても、団体としても、④その優先順位を改めねばならないということ」**を認めています。

この「心からのアピール」は、世界各地で熱心に受

け入れられました。牧師たちは、このアピールを説教の土台として用い、ある地域では、教役者会議がこの「アピール」に提起されている問題の研究に当てられました。その結果、至る所の教会員たちが、**アドベンチスト運動の第一の優先事は、組織的なものではなくて、霊的なもの、神学的なものでなければならない**という確信において、教会の指導者たちと一致しました。たとえ私たちが、**最もすばらしい現代の経営原則を取り入れて、理想的な世界的事業を築いても、どのようにしたら、教会がその特異なメッセージを全世界に宣べ伝えることができるかを、はっきり理解しないならば、私たちの使命は失敗に終わるでしょう。教会の使命は正しい神学にかかっています。**

明確にして単純な真理は、明確にして偽りのないクリスチャンとしての経験と生き方を要求します。神が、自分たちに何を期待しておられるかを理解する時、人々は、一層神の意志に協力し、これを達成するものです。

この年次協議会の代議員として私たちは、1973年度年次協議会によって、リバイバルと改革が叫ばれるにいたった、個人的また団体的悔い改めの精神が今もなお、全世界に感じられ、また1973年度のアピールに

表明された教会の状態の描写は依然として正確であり、リバイバルと悔い改めと改革の必要が今もあるということ信じます。

量よりも質

しかし、教会が、天来の使命を達成するために、霊的に前進しようとするれば、**キリストとその義**を、わが民の前に絶えず掲げねばなりません。そして全教会員は、神が、「**神の戒めを守り、イエスを信じる信仰**を持ちつづける聖徒」(黙示録 14:12)を準備しようとしておられることを、はっきり理解しなければなりません。このような民は、「忠実な証人」からラオデキヤへのメッセージを受け入れた人たちです。「あらゆる点に達し、どんな代価を払っても、あらゆる試みに耐えて、これに打ち勝った者は、真の証人の勧告を受け入れた人々であって、彼らは**春の雨**を受け、**天へ移されるにふさわしい者となるでしょう**」(教会へのあかし第一巻 187 ページ)。

このような人々は、**神の品性を擁護し**、大争闘を終わらせる最後の働きに貢献した人たちです。「**神の民の**

品性の完成に」神とキリストの榮譽がかかっているのです（各時代の希望下巻 157 ページ参照）。

「救い主は、何のためにご自分の**神性が人性と結合**しているかを弟子たちが理解するように熱望された。キリストは、神の栄光を示し、その回復力によって人が高められるようにこの世にこられた。神はキリストのうちにあらわされたが、それはキリストを通して神が人々のうちにあらわされるためであった。イエスは、人がイエスに対する信仰を通して持つことのできないような特性をあらわしたり、能力を働かせたりされなかった。キリストの完全な人性は、キリストに従うすべての者が、キリストと同じように神に服従するときに所有することのできるものである」（各時代の希望下巻 147 ページ）。このようなすばらしい約束を、信者の生活の現実とするために、すべての先天的後天的な悪の傾向に打ち勝つ天来の力として、またご自身の品性を教会に刻みつける天来の力として、キリストはみたまを与えられました。（各時代の希望下巻 157 ページ参照）。与えられたものに欠けるものはありません。私たちは、一人で残されてはいません。「**神がご自分の子らに望まれる理想は、人間の最高の思いが達することができるよりもっと高い。**『それだから、あなたがたも

完全なものになりなさい』(マタイ 5:48)。この命令は約束である。あがないの計画には、われわれをサタンの権力から完全にとりもどすことがもくろまれている。キリストは、悔い改めた魂を、いつでも罪からひき離される。主は、悪魔のわざを滅ぼすためにおいでになったのであって、すべての悔い改めた魂に聖霊を与え、罪を犯さないように道を備えられた」(各時代の希望中巻 20 ページ)。

家庭、近隣、職場において見られる神の民の生活態度は、宇宙を支配される神は、全知で、愛で、義のおかたであることを実証するはずです。「主はご自分の民が正しい原則に従う結果を示すことによって、サタンの非難に答えるよう望まれます」(教会へのあかし第六巻 11 ページ)。「神が今日、ご自分の民を通して達成しようとしておられる目的は、昔、イスラエルをエジプトから導き出された時、達成しようとして望まれたのと同じ目的です。教会の内にあらわされた神の恵み、あわれみ、正義、愛を見ることによって、世の人々は、神の品性のあらわれを見るのです。このように神の律法が生活に実践される時、世の人々は、地上のどんな人たちよりも、神を愛し、神を恐れ、神に仕える人たちの優秀性を認めるでしょう。……神の聖なる戒めを

実行する人たちが顕著な民である事が神のみこころです。モーセが靈感によって、『あなたはあなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた』（申命記 7:6）と書いた言葉は、昔のイスラエルと同じように、今日の神の民に対するものです」（同 12 ページ）。

教会の指導者として、私たちは、「イエスのかたち」が**教会員の私生活ばかりでなく、アドベンチストの説教、アドベンチストの機関—学校、病院、出版社にも反映されねばならない**ことを深く感じています。「セブンスデー・アドベンチストのする事は、どこが異なっているのか」という質問に対する答えは、残りの教会のどの面に接触する人にも一目で明らかでなければなりません。アドベンチストの目標は、量よりむしろ第一に質です。

世と違っていなければならない

このような目標は、保健、教育、福祉方面の働きであろうと、あるいは伝道講演会や安息日の朝の説教で

あろうと、ただ他の団体と同じようなことをやることによって到達する事はできません。アドベンチストのすることは、すべての事において、明確に異なっていなければなりません。「神は、神の働きが、特異な、聖なる形で世に提示されるように定められました。神は、ご自分の民が、**その生活によって、キリスト教が世俗に勝っていることを占めるよう望まれます**。神の恵みによって、われわれが、われわれの事業のすべての取引において、天の原則が世俗の原則に勝っていることを実証するように、あらゆる備えがなされました。われわれは世俗の人々より高いレベルで働いている事を示さねばなりません」(教会へのあかし第七巻 142 ページ)。

教団のすべての方面の専門職にたずさわる人々がこのような影響を世に与えることができる唯一の方法は、だれの目にも見誤ることのないほどキリストに似るものとなる事以外にはないということを確認し、アドベンチスト機関設立のこの第一の目的に貢献できる人だけを雇用するということです。結論として「イエスのかたちを完全に反映する」のは、人物なのです(初代文集 71 ページ)。

従って、すべての教会員に訴えたいことは、自分たちがどの程度まで聖霊に自分たちの生活の形成をゆだねているか、神の恵みによってすべての罪に打ち勝つことをどこまで決心しているか、すべてのことの模範として、どれまで熱心にイエスに目を向けているかということ、真剣に考慮していただきたいということです。私たちは、五人の愚かなおとめたち（マタイ 25 章参照）によってあらわされている人たちに、りっぱにセブンスデー・アドベンチストと見なされる教会員、アドベンチスト独特の教理を裏付ける聖句を熟知している教会員が含まれていることを知っています。これらの「愚かなおとめたち」は偽善者ではありません。彼らは、神について多くの事を知っていますが、神を「おのれの民をそのもろもろの罪から救う」ためにこられた個人的な主としてはほとんど知っていないのです（マタイ 1:21）。

賢いおとめたちは、聖書の原則によって自分の生活が形づくられることを求める人々のことです。神の奉仕にもっと役立つためのより良い健康法であろうと、真理と誤謬を見分けるためのより明晰な思考力であろうと、安息日尊重と神よりの物的祝福の管理者としての責任への深い献身であろうと、目や耳を通して魂を

汚染するような影響力に対するより厳密な注意であろうと、「賢いおとめたち」とは、聖書と預言の霊を、すべての行為の基準とすることを日々の習慣とする人々のことです。「賢いおとめたち」とは、人生の決定に直面する時、神が望まれるどんなことにも喜んで応じる肯定的態度をもち、「なぜいけないのか」という疑問がますます少なくなっていく人々のことです。

私たちは、おのおのが、真剣な聖書研究と瞑想と祈りを毎日の生活の不可欠の部分とするように訴えます。安息日学校教課の忠実な研究、ホワイト夫人の著書、特に「各時代の希望」「キリストの実物教訓」「キリストへの道」の組織的通読を勧めます。「イエスを信じる信仰を持ち続ける」人たちは、そうしたことなしで過ごすことはできないはずです。

さらにまた、キリストを反映する生活は、福音の宣教に不可欠です。教会員が品性においてキリストのようになればなるほど、救霊活動のすべてにおいて、特に自分自身の家庭や近隣における関係において、彼はもっと親切で、品格があり、人をひきつけ、真に役立つものになります。セブンスデー・アドベンチストが、神の品性の世間への展示となることを真剣に追求する

時、全世界の人々が神の側に立つか、それとも神と反対の側に立つかを、最終的に決定する時は、これ以上余り遅れることはないでしょう。

キリストはなぜ待っておられるか

全世界の人類にとっての最後の決定の時、すなわち恩恵期間の終わりは、あまりにも遅れました。神は、1844年以來、幾つかの顕著な時期に、地上の働きを集結しようと望まれましたが、神の民の多くは、神が何を待っておられるかを理解していなかったし、他の人々はそれに協力しなかったのです。1879年に、ホワイト夫人は次のように書いておられます。「時が延ばされているように見えるために、多くの人たちが、言葉と行いに不注意になり、また無関心になりました。彼らは、自分たちの危険を認めず、民が将来の永遠のいのちのために品性を形成する時間を持つように神が恩恵期間を延ばしておられる恵みを理解していません。一刻一刻に最高の価値があるのです。時が彼らに与えられているのは、自分自身の安楽を求めて地上の住民になるために用いるためではなくて、自分自身の品性のすべての欠点に打ち勝つ働きをし、模範と個人的な働きに

よって、他の人々に清潔の美を見させるために用いるためなのです。神は、急速に成就しつつある預言の巻物を信仰と聖なる望みをもってひもとき、キリストがおいでになる時、礼服を着ていないことを後見されることがないように、真理に従うことによって自分自身の魂を清めることに努めている民を、この地上に持っておられます」(教会へのあかし第四巻 306、307 ページ)。

わが教会の指導者と全地の教会員に、自分は果たしてイエスの再臨を妨げているか、それともその日を早めているのかを真剣に反省するように訴えるものです。私たちは厳粛に訴えるものです。主は、人間の努力に対して閉ざされている門戸を開くために、人間の理解できないような方法で教会のために手を差し伸べようと待っておられます。そのような主の助けは、献身した教会員の個人的な生活に、あるいは公衆伝道の突破口となって現れ、いつの日にか、その明らかな力をもって全世界を驚かせるでしょう。

「なぜ私たちはキリストを待たせているか」という問いかけが、すべてのアドベンチスト家庭、すべての教会の集いにおいてなされなければなりません。神は、

何十年もの間、しようと望んでおられたことを、この世代にしようとしておられることを私たちは信じます。神が、今日、ご自分の民を通して、神の恵みは人々をつまづかないものとするのに十分であり、(ユダ 24 参照)、誘惑と罪の中に生活している人々は、イエスが勝利されたように勝利することができるということ(黙示録 3:21 参照)、そしてまた、キリストのような生き方が、この地上で最も幸福で、最も親切で、最も信頼できる民を生み出すということ、神がご自分の今日の民を通してお示しになれる機会を神にお与えせねばなりません。

時が迫っていること、この世が混乱していること、
また多くの者が「天にあこがれの目を向けている」こと、
そしてまた、各人の恩恵期間が短くなりつつあるとい
う現実は、なすべき働きのために立ち上がり光を輝かす人々を呼び求めているのです。神は預言者イザヤを通して次のように挑戦しておられます。「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上のぼったから。見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上のぼったから。見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民を

おおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあられる。もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る」(イザヤ書 60:1-3)。

1973 年度日本連合伝道部会総会代議員として、私たちは、ラオデキヤ教会への使命の言葉は特に教会の指導者たちに与えられていると信じます。従って私たちは、神が世界総会に、支部に、連合部会に、年会に、部会に、機関に、また教会に、指導者として置かれたすべての者が、働き人と教会員を「イエスのかたちを完全に反映する」に至る深い霊的な経験に導き、こうして聖霊の降下が春の雨の力となって感じられ、地が黙示録 18 章の天地の栄光によって照らされ、イエスがおいでになる日が早められるように訴えるものです。

リバイバルと改革 -リバイバルシリーズ-

※頒布価格 100 円

発行 平成 24 年 1 月 16 日

著者 ロバート・ピアソン

発行所 サンライズミニストリー

〒 905-0428

沖縄県国頭郡今帰仁村今泊 1471

電話 0980-56-2783

FAX 0980-56-2881

Email info@sunriseministry.com

www.sunriseministry.com

もっと詳しく研究なされたい方のために...



“スタディバイブル”



口語訳
解説付き聖書
各 10,000 円

標準型 (幅 153mm、高さ 220mm、厚さ 38mm)
余白付大型 (幅 165mm、高さ 235mm、厚さ 38mm)

難漢字ふりがな付き。上質の合成皮革。
E. G. ホワイトの注解、脚注、引照付き、地図、
チャート、金のりんご、聖書語句索引、口語
訳聖書の標準ページを左右余白に付記。

お問い合わせ、お申込みは下記の連絡先まで

サンライズ ミニストリー

〒905-0428 沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊1471

TEL(0980)56-2783 FAX(0980)56-2881

info@sunriseministry.com

www.sunriseministry.com



リバイバル小冊子シリーズ

No.1 安息日問答

No.2 アピール

No.3 装身具について

No.4 狭き道の旅

No.5 リバイバルと改革

No.6 神の聖安息日の遵守

No.7 今

No.8 終末時代における霊の賜物

No.9 小さな光と大きな光

No.10 預言の霊に関する指導原理

No.11 サタンのわな

No.12 人類が直面している世界情勢

No.13 田舎の生活

No.14 十戒

No.15 主のぶどう園

No.16 背教のアルファ

No.17 終わりの時に備えよ

No.18 どのようにして安息日を守るのか

No.19 キリスト論

No.20 救いの確証

No.21 もうひとつの箱船

